

(様式 6 - 小・中学校, 特別支援学校小・中学部用)

報告書は下記のアドレスより取得してください。

<http://www.ia-ibaraki.or.jp/kokusai/rikai/caravan/index.html>

平成 22 年 12 月 20 日

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 石川 哲 夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 土浦市立斗利出小学校

担当教諭名 杉山 俊子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成 22 年 11 月 24 日 (水) 8:45 ~ 13:30
対象学年と人数	1 年 ~ 6 年 (81 名)
活動の内容	ガーナと台湾の国の様子や子供たちについてのお話を聞いた。 ガーナの楽器について話を聞き一緒に演奏した。 台湾の民族衣装の試着、少数民族の踊りを教わり一緒に踊った。
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	<input type="radio"/> 大変満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> あまり満足していない <input type="checkbox"/> 不満足
生徒・保護者等参加者の感想	<ul style="list-style-type: none">・ガーナのパーコフィーさんから、ガーナの子どもたちが木で歯磨きをして、おばあさんが良いと言うまできれいに磨くと言っていた。お肉や魚の骨まできれいに食べると聞いて、びっくりした。パーコフィーさんの歯を見ると、確かに真っ白で丈夫そうだった。・ガーナでは、ゲームで遊ぶ代わりに楽器でいろんなリズムを覚えるとかで、日本では考えられないと思った。家ごとにリズムがあって、そのリズムを交換したり、作ったりして遊ぶそうだ。太鼓の打ち方を教わって、一緒に演奏したり、その音楽に合わせて踊ったりしたのが一番楽しかった。・シーシャン・ファンさんは、台湾の高地の民族衣装を持ってきて試着させてくれた。それはみんな手作りで、その中にはお金で買えないほど高価な物があると聞いた。ぼくは、世界で最も高価な洋服を着たことになる！の かなと思った。・台湾でもクレヨンしんちゃんが流行っていることや、日本にいる台湾の有名人、蓮芳さんなどを教えてもらった。最後にダンスを教えてもらって、頭の上で手をくるっとやるのが、僕は気に入った。
先生の感想	<ul style="list-style-type: none">・ガーナの方は、今までの講師の方とは違って、とてもインパクトがある良い話だった。ガーナの家庭教育についてのお話は、保護者の方達にも聞かせたかったという声が多かった。子ども達も、音楽のことや家庭での手伝いや近所の人とのあいさつなどの話を聞き、自分の生活を振り返る機会になった。・台湾の方はとても若く、つくばから自転車で颯爽と来校してくれた。始めに台湾語で挨拶をしてから、日本と関係のあることを中心に話してくれたので、とても分かり易かった。民族衣装の試着とダンスも評判良く、楽しく参加できた。

(様式 6 - 小・中学校, 特別支援学校小・中学部用)

報告書は下記のアドレスより取得してください。

<http://www.ia-ibaraki.or.jp/kokusai/rikai/caravan/index.html>



この他添付するもの：事業の様子の分かる写真2-3枚

※ご提供いただいた写真は協会の記録用として印刷物などに掲載される可能性があります。
あらかじめご了承ください。

※デジタルカメラで撮影した場合は、データを保存したCD-ROMを添付してください。

提出方法：上記の報告書をWordや一太郎等で作成した場合、お手数でもCD-ROMに保存してお送り
くださいますようお願いいたします。なお、E-mail でも受け付けております。メールアドレスは、
worldcaravan@ia-ibaraki.or.jpです。

(様式 6 - 小・中学校, 特別支援学校小・中学部用)
報告書は下記のアドレスより取得してください。
<http://www.ia-ibaraki.or.jp/kokusai/rikai/caravan/index.html>